

記入要領、記入例(青字)は削除して提出ください

(申請書様式 1)

A4・30 枚以内(厳守)にて、ポイントをおさえ評価者が読みやすいように作成すること。フォントは MS P 明朝、サイズは 10.5 とし、行間は固定値 18 とすること。また、審査の過程において資料の追加提出等を求めることがあります。なお、共同申請の場合は、1 大学増える毎に A4・4 枚の追加を可とします。

提出時には申請書のファイル名を、「(令和 6 年度)申請書様式 1_ 大学_SPRING.pdf」とすること。

次世代研究者挑戦的研究プログラム(SPRING) 申請書

年 月 日提出

基本情報

博士後期課程学生支援 プロジェクトの題目	
-------------------------	--

申請大学の情報	
機関名	法人 大学
事業統括	-
氏名	
所属部局・部署	
職名	
住所	〒
電話番号	
メールアドレス	
研究倫理受講確認番号	(数字 7 桁+ARD。大学独自の研修を受講した場合はその番号)

共同申請大学の情報	
機関名	法人 大学
事業統括	-
氏名	
所属部局・部署	
職名	
住所	〒
電話番号	
メールアドレス	
研究倫理受講確認番号	(数字 7 桁+ARD。大学独自の研修を受講した場合はその番号)

- 1 単独申請の場合は共同申請大学の情報を削除してください。3 大学以上の場合は同体裁で追記ください。
- 2 共同申請の場合には、各大学に事業統括を 1 名ずつ置いた上で、主幹大学の責任者を主幹事業統括とします。

1. ビジョンと現状

1-1. ビジョン(10年後のありたい姿)

- 1 以下に留意の上、10年後のありたい姿を記載ください(1頁以内)。適宜、図や表を活用ください。
- ・我が国の科学技術・イノベーションの将来を担う優秀な志ある博士後期課程学生の育成や増加に寄与
 - ・博士人材が幅広く活躍するための多様なキャリアパスを整備
 - ・社会のニーズの変化を踏まえた戦略的な変革が推進可能な博士課程教育システムを整備
- 2 博士後期課程学生の大学独自財源による支援(自走化)も含めた将来展望や検討状況を記載ください。

10年後の目標値

博士後期課程の入学者数	
博士後期課程修了時の就職率(%)	

1 就職者の定義については、次ページの「注1」を参照

就職率算出の際の分母は3ページの表と同様に、博士後期課程修了者数としてください。以下、就職率についてはすべて同様です。

1-2. 博士後期課程の現状・これまでの実績

1 原則として学校基本調査にて回答した数字を用いてご記入ください。

表の形式は変えないでください。灰色のセルは入力不要です。

2 数字(半角)を入力後、表全体を選択した状態で「F9」押して更新ください。

なお、該当な

3 共同申請の場

4 計画書作成時

うち自学修士学生、うち女性、うち留学生は、それぞれ志願者数にかかります。自学修士課程から志願した女性留学生がいる場合、全ての項目に計上することになります。

たく予定です。予め、ご承知置きください。

	2021年度	2022年度	2023年度	平均
入学定員 (A)				
志願者数 (B)				
うち自学修士学生				
うち女性				
うち留学生				
入学者 (C)				
うち自学修士学生				
うち女性				
うち留学生				
志願者倍率 (=B/A)	0	0	0	0.0
入学定員充足率 (=C/A)	0	0	0	0.0%
博士後期課程 全学年在籍学生数 (D)				
特別研究員採用学生数 (E)				
特別研究員採用率(=E/D)	0	0	0	0.0%
博士後期課程修了者数 (F)				
就職者数 (G) 注1			0	
就職率 (=G/F)			0	0.0%
支援対象学生数 注2				
うち留学生				
うち社会人				

原則、学校基本調査の数字とお伝えしておりましたが
秋季入学生の数字を把握したく、赤枠内の数字は
各年度秋季入学制の人数も含めてください。

「特別研究員採用学生数」にはその年度に採択された人数のみ
ではなく前年度からの継続分も含めてください。

「博士課程修了者数」には学校基本調査の
「卒業生数」を記載してください。

注2 算出に用いる「博士後期課程全学年在籍学生数」等、
また「うち留学生数」「うち社会人数」は、2018-2022年度
分については学校基本調査にて回答した人数としてください
(各年度5月1日時点)。但し、2023年度については公募
開始日(2023年11月24日時点)としてください。


重要：様式変更あり。本改訂版(「うち社会人」の記載がある様式)をお使いください。
企業から安定的な収入を得ている学生数の把握は困難なため、除外条件から削除しました。(下記赤字箇所)

・所属する大学から年間240万円の奨学金等の安定的な収入を得ていると認められる学生

- ・国費外国人留学生制度による支援を受ける留学生、本国からの奨学金等の支援を受ける留学生
- ・標準修業年限超過者
- ・休学中の者

【進路詳細の把握方法】

全博士後期課程学生・選抜学生の進路の詳細については、報告書等に記載いただく予定です。
[把握の方法について簡潔に記載してください。](#)



3 ページの表について集計が間に合わない等あれば、
この欄に記載をお願いします。

2. 目標と計画

2-1. 事業統括の経歴

氏名	
現在の業務内容	
学歴	
職歴	海外機関での勤務経験がある場合には、必ず記載してください。
所属学会	
社会活動	
人材育成、産学連携、ベンチャー支援、キャリアパス支援の実績・有する産学官ネットワーク等	多様なキャリアパスの形成に向けた支援の提供に際して活用できるような、国内外の産業界を含めた外部の組織・機関等とのネットワークについて記載してください。
国際共同研究の実績	
経営層(大学本部)から委譲された事業統括の権限	

1 事業統括 1 名につき 1 頁以内で記載してください(共同申請の場合は、同体裁で追記ください)。

2 採択後の事業統括者の変更は、次世代研究者挑戦的研究プログラム委員会にてその妥当性を評価することとなりますので予めご承知おきください。

2 - 2. 達成すべき目標

2 - 2 - 1. 目標(5年後(FY2028)に達成すべきプロジェクトの目標(全体))

「1 - 1. ビジョン(10年後のありたい姿)」に向け、5年後(FY2028)に本プロジェクトで達成すべき目標を400字程度で説明ください。その際、問題(目標と現状の間のギャップ)を踏まえて目標を設定してください。

5年後の目標値

選抜学生の博士課程修了時の就職率(%)	
---------------------	--

2 - 2 - 2. 目標(10年後(FY2033)に達成すべきプロジェクトの目標(全体))

「1 - 1. ビジョン(10年後のありたい姿)」に向け、10年後(FY2033)に本プロジェクトで達成すべき目標を200字程度で説明ください。その際、問題(目標と現状の間のギャップ)を踏まえて目標を設定してください。

10年後の目標値

選抜学生の博士課程修了時の就職率(%)	
---------------------	--

2-3. プロジェクト

2-3-1. 実施計画概要(キャリア開発・育成コンテンツのみ抜粋)

<前期>	FY2024	FY2025	FY2026	FY2027	FY2028
海外留学・海外派遣研修の企画・実施(研究目的を除く)					
実施項目名 :					
実施項目名 :					
インターンシップの企画・実施(研究目的を除く)					
実施項目名 :					
トランスファラブルスキルの習得に関する企画・実施(研究目的を除く)					
実施項目名 :					
キャリアパス開発に関する企画・実施(研究目的を除く)					
実施項目名 :					
その他(研究目的を除く)					
実施項目名 :					
大学の取組(今後の予定(SPRING 事業以外))(研究目的を除く)					
実施項目名 :					

SPRING には含まれない大学独自の取組を記載いただく想定です。授業料免除、独自奨学金といった取組についても記載いただけます。

<後期>	FY2029	FY2030	FY2031	FY2032	FY2033
海外留学・海外派遣研修の企画・実施(研究目的を除く)					
実施項目名 :	←-----→				
インターンシップの企画・実施(研究目的を除く)					
実施項目名 :					
トランスファラブルスキルの習得に関する企画・実施(研究目的を除く)					
実施項目名 :					
キャリアパス開発に関する企画・実施(研究目的を除く)					
実施項目名 :					
その他(研究目的を除く)					
実施項目名 :					
大学の取組(今後の予定(SPRING 事業以外))(研究目的を除く)					
実施項目名 :					

1 10年度までの計画を、前期と後期の5年度ずつに分けて記載ください。

2 後述の2-3-2や2-4の「キャリア開発・育成コンテンツ」に係る実施内容について、実施項目名を対応の上、具体的なスケジュール(企画・検討、実施、フィードバック等)を記載ください。

- 3 実施予定がない場合、実施項目名 には「なし」と記載し、実施項目名 は削除ください。また、空欄の行は削除ください
- 4 必要に応じて行は適宜追加ください。
- 5 本表は、行間固定値 12 で構いません。

2-3-2. 実施計画

※ SPRING の取組を全学に波及させ教育体制を整備・充実させる計画やアイデアがあれば、各実施内容に含めてください。

①前期(FY2024~FY2028)

研究奨励費の支援	
目標	(記載不要)
問題 (目標と現状のギャップ)	(記載不要)
実施内容①	200 字程度で記載ください。 後述2-3-3の枠数と枠数を設定した根拠・理由についても必ず説明ください。 実施内容が複数ある場合は、行を追加の上、同体裁で記載ください。
実施期間①	〇〇〇〇年〇月~〇〇〇〇年〇月

研究費の支援	
目標	研究費の支援を以て何を成し遂げたいのか、2-2-1で記載した目標に対する小目標を記載ください(200 字程度)。
問題 (目標と現状のギャップ)	ここでいう「研究目的」は専ら学生個人の研究を目的とするものを意図しており、その目的での海外留学・海外派遣を企画されている場合は、「研究費の支援」に記載してください。また、研究目的とキャリア開発・育成コンテンツのどちらにも該当する場合は、実態に即していずれかに記載してください。
実施内容① (問題を解決するためにやるべきこと)	「研究目的」の留学・海外派遣について期中で希望者等への追加配賦として実施する場合は、原則、研究費として分類してください。
実施期間①	以下の項目についても同様です。

キャリア開発・育成コンテンツ(海外留学・海外派遣研修の企画・実施(研究目的を除く))	
目標	海外留学・海外派遣研修の企画・実施をすることで何を成し遂げたいのか、2-2-1で記載した目標に対する小目標を記載ください(200 字程度)。本企画・実施を予定していない場合、全行「なし」と記載ください。
問題 (目標と現状のギャップ)	200 字程度で記載ください。

実施内容①(問題を解決するためにやるべきこと)	200字程度で記載ください。
実施項目名①	実施内容を表す項目名を簡潔に記載ください。2-3-1の実施項目名と対応させてください。
実施期間①	〇〇〇〇年〇月～〇〇〇〇年〇月
最適化①	提案いただいたキャリア開発・育成コンテンツについて、(学生へのアンケート調査、海外留学及び海外派遣研修に係るプログラム参加者数のモニタリング等)社会や学生のニーズをどのように把握し、どのような指標に基づき評価しブラッシュアップしていく予定なのかを記載ください。また、学生にどの程度の参加(人数・必修 or 任意等)を求めるのか、学生の参画を促すための工夫についても記載ください(400字程度)。
実績①	すでに SPRING・フェローシップ事業またはこれに類する取組を実施している大学であって、本内容を実施している場合は、その実績(継続性や進展)及び自己評価について簡潔に説明ください(200字程度)。その他の場合は、「実績なし」と記載ください。
実施内容②(問題を解決するためにやるべきこと)	200字程度で記載ください。 実施内容が複数ある場合は、行を追加の上、同体裁で記載ください。 実施内容が1つのみの場合は、②の行は削除ください。
実施項目名②	実施内容を表す項目名を簡潔に記載ください。2-3-1の実施項目名と対応させてください。
実施期間②	〇〇〇〇年〇月～〇〇〇〇年〇月
最適化②	提案いただいたキャリア開発・育成コンテンツについて、(学生へのアンケート調査、海外留学及び海外派遣研修に係るプログラム参加者数のモニタリング等)社会や学生のニーズをどのように把握し、どのような指標に基づき評価しブラッシュアップしていく予定なのかを記載ください。また、学生にどの程度の参加(人数・必修 or 任意等)を求めるのか、学生の参画を促すための工夫についても記載ください(400字程度)。
実績②	すでに SPRING・フェローシップ事業またはこれに類する取組を実施している大学であって、本内容を実施している場合は、その実績(継続性や進展)及び自己評価について簡潔に説明ください(200字程度)。その他の場合は、「実績なし」と記載ください。

インターンシップについては、ジョブ型研究インターンシップ事業のみに限るものではありません。大学で独自に実施するインターンシップについても記載をお願いします。

キャリア開発・育成コンテンツ(インターンシップの企画・実施(研究目的を除く))

目標	インターンシップの企画・実施をすることで何を成し遂げたいのか、2-2-1で記載した目標に対する小目標を記載ください(200 字程度)。本企画・実施を予定していない場合、全行「なし」と記載ください。
問題 (目標と現状のギャップ)	200 字程度で記載ください。
実施内容① (問題を解決するためにやるべきこと)	200 字程度で記載ください。 実施内容が複数ある場合は、行を追加の上、同体裁で記載ください。
実施項目名①	実施内容を表す項目名を簡潔に記載ください。2-3-1の実施項目名と対応させてください。
実施期間①	〇〇〇〇年〇月～〇〇〇〇年〇月
最適化①	提案いただいたキャリア開発・育成コンテンツについて、(企業へのヒアリング、学生へのアンケート調査、インターンシップ参加者数のモニタリング等) 社会や学生のニーズをどのように把握し、どのような指標に基づき評価しブラッシュアップしていく予定なのかを記載ください。また、学生にどの程度の参加(人数・必修 or 任意等)を求めるのか、学生の参画を促すための工夫についても記載ください(400 字程度)。
実績①	すでに SPRING・フェローシップ事業またはこれに類する取組を実施している大学であって、本内容を実施している場合は、その実績(継続性や進展)及び自己評価について簡潔に説明ください(200 字程度)。その他の場合は、「実績なし」と記載ください。

キャリア開発・育成コンテンツ(トランスファラブルスキルの習得に関する企画・実施(研究目的を除く))	
目標	トランスファラブルスキルの習得に関する企画・実施をすることで何を成し遂げたいのか、2-2-1で記載した目標に対する小目標を記載ください(200 字程度)。本企画・実施を予定していない場合、全行「なし」と記載ください。
問題 (目標と現状のギャップ)	200 字程度で記載ください。
実施内容① (問題を解決するた	200 字程度で記載ください。 実施内容が複数ある場合は、行を追加の上、同体裁で記載ください。

めにやるべきこと)	
実施項目名①	実施内容を表す項目名を簡潔に記載ください。2-3-1の実施項目名と対応させてください。
実施期間①	〇〇〇〇年〇月～〇〇〇〇年〇月
最適化①	提案いただいたキャリア開発・育成コンテンツについて、(企業へのヒアリング、学生へのアンケート調査、イベント参加者数のモニタリング等)社会や学生のニーズをどのように把握し、どのような指標に基づき評価しブラッシュアップしていく予定なのかを記載ください。また、学生にどの程度の参加(人数・必修 or 任意等)を求めるのか、学生の参画を促すための工夫についても記載ください。(400字程度)。
実績①	すでに SPRING・フェローシップ事業またはこれに類する取組を実施している大学であって、本内容を実施している場合は、その実績(継続性や進展)及び自己評価について簡潔に説明ください(200字程度)。その他の場合は、「実績なし」と記載ください。

キャリア開発・育成コンテンツ(キャリアパス開発に関する企画・実施(研究目的を除く))	
目標	キャリアパス開発に関する企画・実施をすることで何を成し遂げたいのか、2-2-1で記載した目標に対する小目標を記載ください(200字程度)。本企画・実施を予定していない場合、全行「なし」と記載ください。
問題 (目標と現状のギャップ)	200字程度で記載ください。
実施内容① (問題を解決するためにやるべきこと)	200字程度で記載ください。 実施内容が複数ある場合は、行を追加の上、同体裁で記載ください。
実施項目名①	実施内容を表す項目名を簡潔に記載ください。2-3-1の実施項目名と対応させてください。
実施期間①	〇〇〇〇年〇月～〇〇〇〇年〇月
最適化①	提案いただいたキャリア開発・育成コンテンツについて、(企業へのヒアリング、学生へのアンケート調査、イベント参加者数のモニタリング等)社会や学生のニーズをどのように把握し、どのような指標に基づき評価しブラッシュアップしていく予定なのかを記載ください。また、学生にどの程度の参加(人数・必修 or 任意等)を求めるのか、学生の参画を促すための工夫についても記載ください(400字程度)。

実績①	すでに SPRING・フェローシップ事業またはこれに類する取組を実施している大学であって、本内容を実施している場合は、その実績(継続性や進展)及び自己評価について簡潔に説明ください(200 字程度)。その他の場合は、「実績なし」と記載ください。

キャリア開発・育成コンテンツ(その他(研究目的を除く))	
目標	その他(4 つの項目に当てはまらない内容)について何を成し遂げたいのか、2-2-1で記載した目標に対する小目標を記載ください(200 字程度)。予定していない場合、全行「なし」と記載ください。
問題 (目標と現状のギャップ)	200 字程度で記載ください。
実施内容① (問題を解決するためにやるべきこと)	200 字程度で記載ください。 実施内容が複数ある場合は、行を追加の上、同体裁で記載ください。
実施項目名①	実施内容を表す項目名を簡潔に記載ください。2-3-1の実施項目名と対応させてください。
実施期間①	〇〇〇〇年〇月～〇〇〇〇年〇月
最適化①	提案いただいたキャリア開発・育成コンテンツについて、(企業へのヒアリング、学生へのアンケート調査、イベント参加者数のモニタリング等)社会や学生のニーズをどのように把握し、どのような指標に基づき評価しブラッシュアップしていく予定なのかを記載ください。また、学生にどの程度の参加(人数・必修 or 任意等)を求めるのか、学生の参画を促すための工夫についても記載ください(400 字程度)。
実績①	すでに SPRING・フェローシップ事業またはこれに類する取組を実施している大学であって、本内容を実施している場合は、その実績(継続性や進展)及び自己評価について簡潔に説明ください(200 字程度)。その他の場合は、「実績なし」と記載ください。

大学事務	
大学事務費の用途	200 字程度で記載ください。

計画書作成時には、「本事業に係る大学事務局の人件費総額」及び「本大学事務費で人件費をいくら捻出予定なのか」について情報いただく可能性がありますので、予めご承知置きください。

②後期(FY2029～FY2033)

研究奨励費の支援	
目標	(記載不要)
問題 (目標と現状のギャップ)	(記載不要)
実施内容①	100字程度で記載ください。 後述2-3-3の枠数と枠数を設定した根拠・理由についても必ず説明ください。 実施内容が複数ある場合は、行を追加の上、同体裁で記載ください。
実施期間①	〇〇〇〇年〇月～〇〇〇〇年〇月

研究費の支援	
目標	研究費の支援を以て何を成し遂げたいのか、2-2-2で記載した目標に対する小目標を記載ください(100字程度)。
問題 (目標と現状のギャップ)	100字程度で記載ください。
実施内容① (問題を解決するためにやるべきこと)	100字程度で記載ください。 実施内容が複数ある場合は、行を追加の上、同体裁で記載ください。
実施期間①	〇〇〇〇年〇月～〇〇〇〇年〇月

キャリア開発・育成コンテンツ(海外留学・海外派遣研修の企画・実施(研究目的を除く))	
目標	海外留学・海外派遣研修の企画・実施をすることで何を成し遂げたいのか、2-2-2で記載した目標に対する小目標を記載ください(100字程度)。本企画・実施を予定していない場合、全行「なし」と記載ください。
問題 (目標と現状のギャップ)	100字程度で記載ください。
実施内容①(問題を解決するためにやるべきこと)	100字程度で記載ください。 実施内容が複数ある場合は、行を追加の上、同体裁で記載ください。
実施項目名①	実施内容を表す項目名を簡潔に記載ください。2-3-1の実施項目名と対応させてください。
実施期間①	〇〇〇〇年〇月～〇〇〇〇年〇月
最適化①	提案いただいたキャリア開発・育成コンテンツについて、(学生へのアンケート調査、海外留学及び海外派遣研修に係るプログラム参加者数のモニタリング等)社会や学生のニーズをどのように把握し、どのような指標に基づき評価しブラッシュアップしてい

	く予定なのかを記載ください。また、学生にどの程度の参加(人数・必修 or 任意等)を求めるのか、学生の参画を促すための工夫についても記載ください(200 字程度)。
実績①	すでに SPRING・フェローシップ事業またはこれに類する取組を実施している大学であること、その実績(継続性や進展)及び自己評価について簡潔に説明ください(200 字程度)。その他の場合は、「実績なし」と記載ください。 実績について P10 からの「①前期 (FY2024~FY2028)」の記載と重複する場合は「前期と同様」と記載してください。

キャリア開発・育成コンテンツ(インターンシップの企画・実施(研究目的を除く))	
目標	インターンシップの企画・実施をすることで何を成し遂げたいのか、2-2-2で記載した目標に対する小目標を記載ください(100 字程度)。本企画・実施を予定していない場合、全行「なし」と記載ください。
問題 (目標と現状のギャップ)	100 字程度で記載ください。
実施内容① (問題を解決するためにやるべきこと)	100 字程度で記載ください。 実施内容が複数ある場合は、行を追加の上、同体裁で記載ください。
実施項目名①	実施内容を表す項目名を簡潔に記載ください。2-3-1の実施項目名と対応させてください。
実施期間①	〇〇〇〇年〇月~〇〇〇〇年〇月
最適化①	提案いただいたキャリア開発・育成コンテンツについて、(企業へのヒアリング、学生へのアンケート調査、インターンシップ参加者数のモニタリング等)社会や学生のニーズをどのように把握し、どのような指標に基づき評価しブラッシュアップしていく予定なのかを記載ください。また、学生にどの程度の参加(人数・必修 or 任意等)を求めるのか、学生の参画を促すための工夫についても記載ください(200 字程度)。
実績①	すでに SPRING・フェローシップ事業またはこれに類する取組を実施している大学であって、本内容を実施している場合は、その実績(継続性や進展)及び自己評価について簡潔に説明ください(200 字程度)。その他の場合は、「実績なし」と記載ください。

キャリア開発・育成コンテンツ(トランスファラブルスキルの習得に関する企画・実施(研究目的を除く))	
目標	トランスファラブルスキルの習得に関する企画・実施をすることで何を成し遂げたいのか、2-2-2で記載した目標に対する小目標を記載ください(100 字程度)。本企画・実施を予定していない場合、全行「なし」と記載ください。
問題 (目標と現状のギャップ)	100 字程度で記載ください。
実施内容①	100 字程度で記載ください。

(問題を解決するためにやるべきこと)	実施内容が複数ある場合は、行を追加の上、同体裁で記載ください。
実施項目名①	実施内容を表す項目名を簡潔に記載ください。2-3-1の実施項目名と対応させてください。
実施期間①	〇〇〇〇年〇月～〇〇〇〇年〇月
最適化①	提案いただいたキャリア開発・育成コンテンツについて、(企業へのヒアリング、学生へのアンケート調査、イベント参加者数のモニタリング等)社会や学生のニーズをどのように把握し、どのような指標に基づき評価しブラッシュアップしていく予定なのかを記載ください。また、学生にどの程度の参加(人数・必修 or 任意等)を求めるのか、学生の参画を促すための工夫についても記載ください(200字程度)。
実績①	すでにSPRING・フェローシップ事業またはこれに類する取組を実施している大学であって、本内容を実施している場合は、その実績(継続性や進展)及び自己評価について簡潔に説明ください(200字程度)。その他の場合は、「実績なし」と記載ください。

キャリア開発・育成コンテンツ(キャリアパス開発に関する企画・実施(研究目的を除く))	
目標	キャリアパス開発に関する企画・実施をすることで何を成し遂げたいのか、2-2-2で記載した目標に対する小目標を記載ください(100字程度)。本企画・実施を予定していない場合、全行「なし」と記載ください。
問題 (目標と現状のギャップ)	100字程度で記載ください。
実施内容① (問題を解決するためにやるべきこと)	100字程度で記載ください。 実施内容が複数ある場合は、行を追加の上、同体裁で記載ください。
実施項目名①	実施内容を表す項目名を簡潔に記載ください。2-3-1の実施項目名と対応させてください。
実施期間①	〇〇〇〇年〇月～〇〇〇〇年〇月
最適化①	提案いただいたキャリア開発・育成コンテンツについて、(企業へのヒアリング、学生へのアンケート調査、イベント参加者数のモニタリング等)社会や学生のニーズをどのように把握し、どのような指標に基づき評価しブラッシュアップしていく予定なのかを記載ください。また、学生にどの程度の参加(人数・必修 or 任意等)を求めるのか、学生の参画を促すための工夫についても記載ください(200字程度)。
実績①	すでにSPRING・フェローシップ事業またはこれに類する取組を実施している大学であって、本内容を実施している場合は、その実績(継続性や進展)及び自己評価について簡潔に説明ください(200字程度)。その他の場合は、「実績なし」と記載ください。

キャリア開発・育成コンテンツ(その他(研究目的を除く))	
目標	その他(4つの項目に当てはまらない内容)について何を成し遂げたいのか、2-2-2で記載した目標に対する小目標を記載ください(100字程度)。予定していない場合、全行「なし」と記載ください。
問題 (目標と現状のギャップ)	100字程度で記載ください。
実施内容① (問題を解決するためにやるべきこと)	100字程度で記載ください。 実施内容が複数ある場合は、行を追加の上、同体裁で記載ください。
実施項目名①	実施内容を表す項目名を簡潔に記載ください。2-3-1の実施項目名と対応させてください。
実施期間①	〇〇〇〇年〇月～〇〇〇〇年〇月
最適化①	提案いただいたキャリア開発・育成コンテンツについて、(企業へのヒアリング、学生へのアンケート調査、イベント参加者数のモニタリング等)社会や学生のニーズをどのように把握し、どのような指標に基づき評価しブラッシュアップしていく予定なのかを記載ください。また、学生にどの程度の参加(人数・必修 or 任意等)を求めるのか、学生の参画を促すための工夫についても記載ください(200字程度)。
実績①	すでにSPRING・フェローシップ事業またはこれに類する取組を実施している大学であって、本内容を実施している場合は、その実績(継続性や進展)及び自己評価について簡潔に説明ください(200字程度)。その他の場合は、「実績なし」と記載ください。

大学事務	
大学事務費の用途	100字程度で記載ください。

2-3-3. 予算計画概要

	FY2024	FY2025	FY2026	FY2027	FY2028	備考
単価	千円	千円	千円	千円	千円	900千円
選抜学生 枠数	枠	枠	枠	枠	枠	目安
	うち D1: 枠	うち D1: 枠	うち D1: 枠	うち D1: 枠	うち D1: 枠	
	うち D2: 枠	うち D2: 枠	うち D2: 枠	うち D2: 枠	うち D2: 枠	
	うち D3: 枠	うち D3: 枠	うち D3: 枠	うち D3: 枠	うち D3: 枠	
	うち D4: 枠	うち D4: 枠	うち D4: 枠	うち D4: 枠	うち D4: 枠	
	うち留学生 枠	うち留学生 枠	うち留学生 枠	うち留学生 枠	うち留学生 枠	
年度上限 額合計	千円	千円	千円	千円	千円	単価×枠数

選抜学生の枠数のうち、それぞれ(D1~D4, 留学生)にどの程度の枠数を割り振る計画かを記載ください。
D1の留学生が4名という計画であれば、「うちD1」と「うち留学生」の両方に4を計上することになります。

	FY2029	備考
単価	千円	上限 2,900千円
選抜学生 枠数	枠	内数は目安
	うち留学生 枠	
年度上限 額合計	千円	単価×枠数

留学生枠の確保が必須であるという意図ではなく、何名程度を想定されているかの把握のために記載いただくものです。留学生の扱いについては公募要領P2に記載の通り、いかにして「我が国の科学技術・イノベーション」に貢献するのかを考慮の上、記載してください。

2-3-4. 予算計画

予算費目	FY2024	FY2025	FY2026	FY2027	FY2028	備考
研究奨励 費(生活費相 当額)	千円× 枠	千円× 枠	千円× 枠	千円× 枠	千円× 枠	単価×枠数(学生によって金額を変える場合は平均単価を記載)
	千円	千円	千円	千円	千円	期初配分合計
	千円	千円	千円	千円	千円	期中追加配分(可能性あれば)
研究費	千円× 枠	千円× 枠	千円× 枠	千円× 枠	千円× 枠	単価×枠数(学生によって金額を変える場合は平均単価を記載)
	千円	千円	千円	千円	千円	期初配分合計
	千円	千円	千円	千円	千円	期中追加配分
キャリア開 発・育成コン テンツ費	千円	千円	千円	千円	千円	海外留学・海外派遣研修の企画・実施(研究目的を除く)に係る費用
	千円	千円	千円	千円	千円	インターンシップの企画・実施(研究目的を除く)に係る費用
	千円	千円	千円	千円	千円	トランスファラブルスキルの習得に関する企画・実施(研究目的を除く)に係る費用
	千円	千円	千円	千円	千円	キャリアパス開発に関する企画・実施(研究目的を除く)に係る費用
	千円	千円	千円	千円	千円	その他(上の4項目でない項目。研究目的を除く)
大学事務 費	千円	千円	千円	千円	千円	・本事業のために用いる経費であって、上記 ~ のいずれにも該当しないもの(例:事務局職員の人件費、他) ・支援費総額の3%以下

期中に学生からの提案を審査し競争的に追加配賦する場合等は、予定する追加配賦の「総額」をこちらに記載いただくことが可能です。

合計	千円	千円	千円	千円	千円	2-3-3の年度上限額合計と一致すること
----	----	----	----	----	----	----------------------

予算費目	FY2029	FY2030	FY2031	FY2032	FY2033	備考
研究奨励費(生活費相当額)	千円 × 枠	千円 × 枠	千円 × 枠	千円 × 枠	千円 × 枠	単価 × 枠数(学生によって金額を変える場合は平均単価を記載)
	千円	千円	千円	千円	千円	期初配分合計
	千円	千円	千円	千円	千円	期中追加配分(可能性あれば)
研究費	千円 × 枠	千円 × 枠	千円 × 枠	千円 × 枠	千円 × 枠	単価 × 枠数(学生によって金額を変える場合は平均単価を記載)
	千円	千円	千円	千円	千円	期初配分合計
	千円	千円	千円	千円	千円	期中追加配分
キャリア開発・育成コンテンツ費	千円	千円	千円	千円	千円	海外留学・海外派遣研修の企画・実施(研究目的を除く)に係る費用
	千円	千円	千円	千円	千円	インターンシップの企画・実施(研究目的を除く)に係る費用
	千円	千円	千円	千円	千円	トランスファラブルスキルの習得に関する企画・実施(研究目的を除く)に係る費用
	千円	千円	千円	千円	千円	キャリアパス開発に関する企画・実施(研究目的を除く)に係る費用
	千円	千円	千円	千円	千円	その他(上の4項目でない項目。研究目的を除く)
大学事務費	千円	千円	千円	千円	千円	・本事業のために用いる経費であって、上記 ~ のいずれにも該当しないもの(例:事務局職員の人件費、他) ・支援費総額の3%以下
合計	千円	千円	千円	千円	千円	2-3-3の年度上限額合計と一致すること

実施予算計画の考え方:

SPRINGでは人数ではなく、枠(レーン)という考え方を採用しています。基本は、1枠=1名の割り当てですが、秋卒業、秋入学の2名で、1枠を按分いただく運用等も可能です。

予算合計は、助成額単価(上限2,900千円/枠・年度)×枠数を上限とします。

研究奨励費と研究費の単価の合計は、2,200千円/枠・年度以上としてください。

研究奨励費(生活費相当額):

単価:1枠に配分する金額を記載ください。単価は1,800千円~2,400千円/枠・年度となります。

半年のみ支援(秋卒業で後期の補充者なし、または、秋入学で上期の支援者なし等)の枠についても、1枠分計上ください。残金は期末に返還いただく運用です。

期中追加配分:特定の学生に期中で追加配分する場合の総額を記載ください。

研究費:

単価:1枠に配分する金額を記載ください。0円/枠・年度は不可です。

期中追加配分:特定の学生に期中で追加配分する場合の総額を記載ください。

2 - 4 . 大学の取組(これまでの実績と今後の予定(本申請「2 - 3 - 2」に記載した内容を除く))

キャリア開発・育成コンテンツについて、これまでの実績(研究目的除く)	
実施項目名	例) JST_次世代研究者挑戦的研究プログラム (SPRING)
期間	本欄には SPRING やフェローシップ事業を含む大学でこれまで実施した取組について、特に優れた取組みを記載してください。この欄は本申請「2 - 3 - 2」と重複しても問題ございません。
内容	
実績	具体的な実績を記載ください(200 字程度)。
自己評価	実績に対する貴学での自己評価(評価指標に基づく評価結果)を記載ください(200 字程度)。また、大学の博士課程教育に係る制度や体制等をどのように改善できたのかを記載ください(200 字程度)。
実施項目名	例) 独自財源を用いた博士後期課程学生に対する生活費の支援及び予算額項目が3つ以上ある場合は、行を追加の上、同体裁で記載ください。項目が1つのみの場合は、の行は削除ください。
期間	年 月 ~ 年 月
内容	具体的内容を記載ください(200 字程度)。
実績	具体的な実績を記載ください(200 字程度)。
自己評価	実績に対する貴学での自己評価(評価指標に基づく評価結果)を記載ください(200 字程度)。また、大学の博士課程教育に係る制度や体制等をどのように改善できたのかを記載ください(200 字程度)。 本申請による助成金を活用した取組みとは別に独自の取組を進めていくご予定があれば、記載をお願いいたします。

キャリア開発・育成コンテンツについて、今後の予定(本申請「2 - 3 - 2」に記載した内容を除く)(研究目的除く)	
実施項目名	2 - 3 - 1の実施項目名と対応させてください。 本事業の枠組み以外でキャリア開発・育成コンテンツを実施されない場合は、全行

	「なし」と記載ください。
期間	年 月～ 年 月
内容	具体的内容を記載ください(200 字程度)。
実施項目名	2 - 3 - 1の実施項目名と対応させてください。 項目が3つ以上ある場合は、行を追加の上、同体裁で記載ください。 項目が1つのみの場合は、 の行は削除ください。
期間	年 月～ 年 月
内容	具体的内容を記載ください(200 字程度)。

- 1 大学独自の財源による取組を含め、継続性を確保し得る取組が実施されているか、または、実施される予定かを審査時に確認します。
- 2 2023 年度まで実施した SPRING・フェローシップ事業での取組は、「これまでの実績」へ記載ください。実施項目名については、事業名を記載いただければ構いません。

2 - 5. 支援学生選抜方法

募集方法

(方法を記載ください)

応募要件

(要件を記載ください)

選抜方法・選考の観点(方針)

(方針を記載ください)

- 1 1頁以内で簡潔に記載ください。
- 2 経営層(大学本部)や外部有識者がどのように関与するかも明確に記載ください。
- 3 留学生を支援する場合は、より多様な国・地域からの受け入れを進めるような方策や、受け入れが想定される国・地域について記載ください。
- 4 目標とする選抜学生の採択率(倍率)を記載ください。なお、計画書作成時に、採択された人数等に応じて計画を変更いただくことが可能です。

2 - 6. 運営チーム(経営層)

氏名	所属部局・部署	職名	役割	申請大学 / 共同申請大学
				申請大学
				申請大学
				申請大学

共同申請大学の方の場合は、「所属部局・部署」の欄に所属機関名も記載ください。

運営チームに対する経営層(大学本部)のコミットメントについて、「図」と「400 字程度の文書」で簡潔に説明ください。

運営チームに経営層が参加することを妨げるという意図ではございません。プロジェクトの目標達成のため、適切な体制を構築してください。

3. プロジェクト概要

これまで記載いただいた内容について、パワーポイント 1 枚 (A4 サイズ・横) でプロジェクト概要スライド (イラストや図を使ってまとめたもの) を作成の上、貼り付けてください。別途、pptx の提出もお願いします。なお、機構内説明用として、一部編集の上、使用させていただく可能性もありますので予めご承知置きください。

以上

< 参考 >

本ページは、P1 指定の枚数制限(30 枚)に含めません。
情報収集のため、アンケートにご回答いただけますと幸いです。
なお、本アンケートへの回答の有無、回答内容は公募 (SPRING) の合否に影響を与えません。
また、以下新規事業への応募の可否に影響を与えるものではありません。

令和 5 年度補正予算案に計上されている国家戦略分野の若手研究者及び博士後期課程学生の育成(次世代 AI 人材育成プログラム)にて、博士後期課程学生の支援を予定しております。詳細は検討中ですが概要は下記の通りです。

概要: 緊急性の高い国家戦略分野として、次世代 AI 分野 (AI 分野及び AI 分野における新興・融合領域) を設定し、
人材育成及び先端的研究開発を推進

特徴: 国家戦略分野の研究者層を厚くするため、同分野に資する研究に取り組もうとする博士効果課程学生に対して、
十分な生活費相当額及び研究費をインセンティブ付与

支援期間: 3 年間 (3 回募集の予定)

単価・件数: 390 万円/年程度を基本とし、計 600 人程度に支援

支援対象: 博士号取得を目指す博士後期課程学生

https://www.mext.go.jp/content/20231109-app_dev02-000024735_2.pdf (15 ページ)

SPRING を推進している大学が上記新規事業に応募し採択された場合、SPRING 選抜学生の新規事業への移行を可能とする予定です。

貴学において、以下のいずれかに「 」を入れてください。

	予定あり	検討中	予定なし
次世代 AI 人材育成プログラムへの応募			

ご協力ありがとうございました。